

平成 30 年 11 月 25 日 (日) 施行

第 192 回 全経簿記能力検定試験 1 級 原価計算・工業簿記 解答

第 1 問

ア	イ	ウ	エ	オ	カ
○	×	○	○	○	×

第 2 問

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕掛品	5,556,900	材料	5,556,900
2	仕掛品	593,000	外注加工賃	593,000
3	売掛金	3,975,000	売上	3,975,000
	売上原価	2,635,000	A組製品	1,264,000
			B組製品	1,371,000
4	製品	9,870,000	第2工程仕掛品	10,020,000
	副産物	150,000		
5	予算差異	70,000	仕掛品	70,000
6	製造間接費	485,000	本社	485,000

第 3 問

等級別原価計算表

製品	重量	等価係数	完成品数量	積数	あん分原価	単価
1 級品	130 kg	1.3	5,000 個	6,500	¥ 3,276,000	@¥ 655.2
2 級品	100 kg	1	8,600 個	8,600	¥ 4,334,400	@¥ 504.0
3 級品	60 kg	0.6	9,000 個	5,400	¥ 2,721,600	@¥ 302.4
				20,500	10,332,000	

3 級 製 品

借方	金額	貸方	金額
前月繰越	285,200	(売上原価)	(2,734,640)
(仕掛品)	(2,721,600)	次月繰越	(272,160)
	(3,006,800)		(3,006,800)
前月繰越	(272,160)		

第4問

(1)

部門費振替表

摘要	合計	切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
部門個別費					
間接材料費	706,800	193,600	372,400	82,100	58,700
間接労務費	582,200	179,600	296,800	63,500	42,300
間接経費	398,800	124,300	159,100	67,800	47,600
部門共通費配賦額	984,000	442,800	295,200	147,600	98,400
部門費合計	2,671,800	940,300	1,123,500	361,000	247,000
作業くず評価額	14,800	8,300	6,500	—	—
差引計	2,657,000	932,000	1,117,000	361,000	247,000
動力部門費	361,000	252,700	108,300		
修繕部門費	247,000	148,200	98,800		
実際発生額	2,657,000	1,332,900	1,324,100		
予定配賦額	2,666,600	1,330,000	1,336,600		
部門費差異	(+) 9,600	(-) 2,900	(+) 12,500		

(2)

切削部門費

製造間接費	(940,300)	(仕掛品)	(1,330,000)
(動力部門費)	(252,700)	作業くず	(8,300)
修繕部門費	(148,200)	部門費差異	(2,900)
	(1,341,200)		(1,341,200)

動力部門費

(製造間接費)	(361,000)	切削部門費	(252,700)
		(組立部門費)	(108,300)
	(361,000)		(361,000)

仕掛品

前月繰越	(537,100)	仕掛品	(98,800)
材料	(727,000)	(製品)	(3,728,400)
賃金給料	(609,500)	作業くず	(30,700)
経費	(86,300)	次月繰越	(1,317,400)
切削部門費	(1,331,000)		
組立部門費	(1,336,600)		
(仕掛品)	(98,800)		
	(4,725,300)		(4,725,300)
前月繰越	(1,317,400)		

製		品	
前月繰越	(1,879,000)	(売上原価)	(3,455,700)
(仕掛品)	(3,278,400)	次月繰越	(1,701,700)
	(5,157,400)		(5,157,400)
前月繰越	(1,701,700)		

売		上	
(月次損益)	(4,936,000)	売掛金	(4,936,000)

(3)

指図書別原価計算表

摘 要	指図書#21	指図書#22	指図書#23	指図書#21-R1	合 計
月初仕掛品原価	537,100	—	—	—	537,100
直接材料費	76,600	389,700	241,200	19,500	727,000
直接労務費	112,400	301,600	178,800	16,700	609,500
直接経費	10,500	46,100	29,700	—	86,300
切削部門費	332,500	513,000	446,500	38,000	1,330,000
組立部門費	418,200	467,400	426,400	24,600	1,336,600
小 計	1,487,300	1,717,800	1,322,600	98,800	4,626,500
補修費	98,800	—	—	△98,800	0
合 計	1,586,100	1,717,800	1,322,600	0	4,626,500
作業くず評価額	9,400	16,100	5,200	—	30,700
差引計	1,576,700	1,701,700	1,317,400	0	4,595,800
備 考	完 成	完 成	仕 掛 中	#21へ賦課	

(4) 部門費差異の要因分析

部門費総差異は¥【 9,600 】であり、【 有利・不利 】差異となっているが、その要因をさらに分析すると次のようになる。すなわち、切削部門に部門費差異は¥【 2,900 】の【 有利・不利 】差異であった。

しかし、組立部門の部門費差異は¥【 12,500 】の【 有利・不利 】差異であり、切削部門のマイナス分を打ち消す以上の節約効果があったと考えられる。したがって、今後は【 切削・組立 】部門の製造間接費について、原価管理を徹底する必要があると考えられる。